



## 1. ブリッジ第9号の発行にあたって

令和2年度はJA自己改革の実現に向けた第6次中期3カ年計画実践の2年目となります。基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」をしっかりと見える形で示すため、更なる取り組み強化を目指します。また、特に現在深刻な状況となっている新型コロナウイルス問題については随時情報収集をおこない、行政や関係機関と連携しながら影響を最小限に抑えるための対策を進めてまいります。ブリッジでは本年度も自己改革に向けた当JAの取り組みについての情報をお届けしますので、皆さまの営農活動にお役立てください。

## 2. 栽培履歴記帳はパソコンで！～インターネットを利用した栽培履歴システムの運用を開始します～

令和2年度より米の栽培履歴について、パソコンでの記帳ができるようになります。簡単操作で提出や内容訂正ができるなどメリットが多数あります。是非ともご活用ください。

### (1) システム利用いただける栽培履歴

米栽培履歴

※「区管理の非主食用米」、「頸北エコ米研究会特裁米」、「頸北エコ米研究会パル10特裁米」、「頸北もち米研究会特裁米」、「各種特裁米栽培計画書」については非対応です。

### (2) システム利用のメリット

- ◆提出ボタンをクリックするだけで簡単に提出できます。
- ◆システムの入力サポート機能により、農薬登録の有無、成分数の自動表示と計算、必須入力項目などが管理されており、記入漏れや誤記入が軽減されます。
- ◆誤記入があった場合の訂正・再提出が容易にできます。
- ◆利用料金は無料です。

### (3) 利用申し込み

ご利用いただくには申し込みが必要です。申込書については支店、営農センターおよびJAえちご上越のホームページから取得いただけます。

◆申込書提出場所：お近くの支店または営農センター

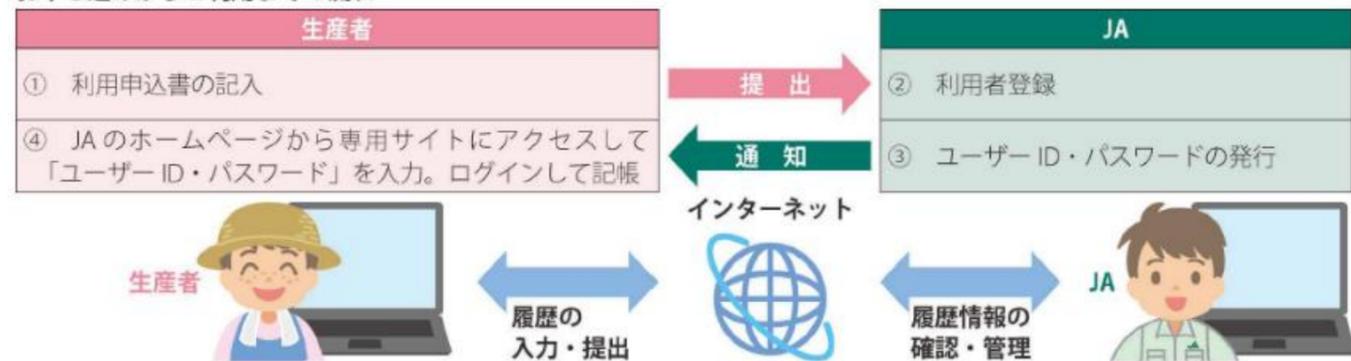
◆申込書受付：令和2年4月1日から

※令和2年産米用の申込期限は令和2年6月19日までとなります。

※申込期限を過ぎた場合は令和3年産米用からのご利用となります。

### (4) 申し込みからご利用までの流れ

お申し込みからご利用までの流れ



## 3. 次代を担う農業後継者募集！～JA職員として働きながら地域の担い手を目指しませんか？～

当JAでは将来の担い手育成を目的に「農業後継者育成雇用制度」を新設しました。本制度は就農を目指す人材が、JA職員として働きながら営農に必要な知識や技術を習得し、さらに資格試験にもチャレンジできるというものです。また、JA業務を通じて様々な人脈を築くことは将来の農業経営に必ずプラスになると思います。是非とも本制度を活用ください。

### (1) 採用時期

令和3年4月1日

### (2) 雇用期間

原則3年間

### (3) 応募資格

雇用契約終了後、農業経営を継続、もしくは就農を確約できる方

親元就農を考えている方  
にもおすすめです！



## 4. 異常気象に負けない土づくりを実践！～土づくり資材購入に対し助成をおこないます～

異常気象による品質・収量低下を回避し販売先の出荷要望に応えるため、令和2年産米の生産にあたっては土づくりに重点を置きましょう。

### (1) 助成内容

対象土づくり資材1袋に対して300円を助成

### (2) 対象資材

えちご上越ソイルスター・えちご上越ソイル元気・けい酸加里プレミアム34  
スーパーシリカプレミアム・越後の輝きソイル米スター・とれ太郎  
苦土重焼燐35・石灰窒素 防散21%・石灰窒素 粒20%・粒状熔燐20  
稲わら腐熟促進剤（ワラクサー、アグリ革命、ワラ分解キング等）

### (3) 助成対象期間

令和元年9月1日～令和2年6月末日までの購入分

## 5. 少雪にともなう緊急対策実施！～農業用水確保にかかる経費に対し助成をおこないます～

「少雪農業用水確保緊急対策助成金」を以下の通り整備しましたのでご活用ください。

### (1) 助成内容

かん水用機械の借上げ又は購入および揚水施設、送水管等設置に対して助成

### (2) 助成率

助成対象経費（実費）又は助成対象経費上限額のいずれか低い額の1/4

助成対象	助成対象経費 上限額	助成金 上限額	備考
ポンプ車等の借上げ	17,000 円/日	4,250 円/日	一台当たり
ポンプの借上げ	3,000 円/日	750 円/日	一台当たり
ポンプの購入	84,000 円/台	21,000 円/台	新規購入のみ
ホースの購入	8,000 円/台	2,000 円/台	新規購入のみ
ポリタンクの購入	26,000 円/台	6,500 円/台	200ℓ以上、新規購入のみ
揚水施設送水管等の設置	300,000 円/件	75,000 円/件	

### (3) 助成対象期間

令和2年4月1日～令和2年6月12日（借上げ日、納品日、設置日基準）

### (4) 申請期間

令和2年4月1日～令和2年8月31日

6. 令和元年度農業者支援プログラム実績と令和2年度計画

今年度も新規支援事業を含む新たな「農業者支援プログラム」で皆さまの営農活動をサポートします。

支援策	支援内容	支援基準	令和元年度実績	令和2年度計画	支援策	支援内容	支援基準	令和元年度実績	令和2年度計画			
			実績金額 (万円)	計画金額 (万円)				実績金額 (万円)	計画金額 (万円)			
営農	1 集出荷施設運営協力費	一次選別の効率化を図るため、必要な機械導入費の一部を支援	・導入費用の一部助成（購入費の10%以内または最大20万円まで） ・JA購入 ・運営協力費として（選別面積1,000円/10a）	20万円	60万円	生産資材	5 水稲土づくり肥料受託施肥支援	施肥作業を受託する担い手等に対し使用した肥料1t当たり2,500円を還付	・JAから水稲土づくり肥料を購入し、肥料散布を20ha以上受託していること ・実施計画書が期限までに提出されていること ※作業実施後、秋施肥は11月末、春施肥は5月末までに実施報告書を提出	—	10万円	
	2 園芸排水対策費	全農にいがたレンタル機械（排水対策）利用料に対する助成	・レンタル利用料の1/2補助（最大1万5千円）	—	8万円		農機	6 肥料・農業予約購入大口利用者支援	購入金額に応じ通常価格から割引	当用価格に対する秋渡し予約価格の割引率  ●秋渡し（カッコ内は春渡し） 30万円～50万円未満…2.5%（2%） 50万円～100万円未満…3.5%（3%） 100万円～200万円未満…4.5%（4%） 200万円～300万円未満…5.5%（5%） 300万円～500万円未満…6.5%（6%） 500万円～1,000万円未満…7.5%（7%） 1,000万円以上…8.5%（8%）	1億4,761万円	1億5,000万円
	3 畜産関連	・乳牛導入経費の一部支援 ・自家産牛（乳用種）の分娩に対する助成 ・枝肉重量奨励金	・乳用牛の導入費用に対して1頭ごとに助成 ・自家産牛分娩を1頭ごとに助成 ・基準重量以上の枝肉出荷に対し1頭ごとに助成	21万円	50万円			1 農機具共済掛金支援	農機具に関する共済掛け金助成	JAより購入した農業機械に対して購入1年目の共済掛け金を全額助成	60万円	80万円
	4 畜産関連	・良質肉生産に対する助成 ・移転運搬に対する助成 ・購入受精卵にかかる一部費用助成 等	・（良質肉）A5ランク3,500円/頭、B3ランク以上2,000円/頭 ・（運搬）上下牧や出荷にかかる運搬料の一部助成	90万円	110万円			2 コンバイン格納整備料金支援	コンバイン整備料金の軽減支援（生産費コスト軽減）	JAより購入したコンバインに対して1年目の点検・整備料金の1/2助成	45万円	45万円
	5 越の丸なす青枯病対策	青枯病対策で接木の際の苗代金支援	1本当たり20円を助成	4万円	6万円	3 JA・全農レンタル機支援		レンタル料金の軽減支援（生産費コスト軽減）	JA・全農レンタル機の料金に対して10%助成	19万円	20万円	
	6 各種生産組織等に対する活動助成	各種生産組織の活動促進に向けた支援	1組織当り活動実績・構成員数等により助成	600万円	629万円	4 ドローン免許取得支援		免許取得支援（スマート農業普及推進）	JAよりドローン（小型無人飛行機）を契約し免許取得をした組合員に対してライセンス費用の10%を助成	—	25万円	
	7 イノシシ等鳥獣害対策被害への支援	上越市・妙高市の鳥獣害対策協議会を通じた被害防止対策支援	—	402万円	500万円	信用		1 ※3 施設整備支援 農地取得支援	「担い手支援資金（アグリV）」における一般枠（設備資金、中・長期運転資金）および農地取得（農地取得、借地料等）への利子補給等	・当初3年間、実質金利（保証料込）が年0.50% ・4年目以降、実質金利（保証料込）が年2.00%	一般枠 1億7,595万円 農地取得枠 1,370万円	県下融資枠 25億円
	新8 ※1 土づくり支援	令和2年産米用の対象となる土づくり資材への助成	1袋当たり300円を助成	447万円	1,000万円		2 ※4 経営改善支援 金融負担軽減支援	「農業近代化」等、対象となる農業資金借入にかかる保証料相当額を助成	・農業近代化資金 ⇒全期間（令和元年度） ⇒当初5年間（令和2年度） ・農機具ローン、アグリマイティ資金（証書） ⇒当初3年間 ・スーパーS資金、サポートA、アグリマイティ資金（手形）⇒当初1年間 ※上記資金は条件により、JAバンクの利子補給（最大1.0%）の対象	農業近代化資金 1億9,556万円 アグリマイティ資金 1億4,964万円 農機具ローン 1億823万円 サポートA 4億5,277万円（実行額）	県下融資枠 86億円	
	新9 ※2 少雪農業用水確保緊急対策助成金	暖冬少雪による水不足軽減対策として農業用水確保に要した経費の一部を助成	かん用水用機械等の借上げや購入及び用水施設や送水管の設置などに要した経費の1/4を助成	—	200万円		3 為替手数料負担支援	組合員組織が依頼人または受取人の振込みにかかる手数料の免除	手数料の免除	—	—	
	生産資材	1 肥料工場直送支援	肥料工場直送利用者に対し1袋/20kg当り30円～100円を値引き	・4t車以上の持込みとフォークリフト等による荷降ろしが可能なこと ・1回の持込みが180袋/20kg以上 ※出荷希望日の10日前までに申請	730万円	730万円	担い手	1 農業後継者育成支援	就農に向けて必要な知識・技術を習得できるようにJA職員として雇用	原則3年間の雇用とし、雇用契約終了後には農業経営の継続もしくは就農の確約ができることが条件	—	—
2 床土・培土早期直送支援		10月から翌年2月までの早期直送利用者に対し1袋/20kg当り10円を値引き フレコンは別途重量換算し値引き	・10t車以上の持込みとフォークリフト等による荷降ろしが可能なこと ・1回の持込みが450袋/20kg以上 ※出荷希望日の10日前までに申請	124万円	120万円	支援総額 ※5			1億7,393万円	1億8,663万円		
3 園芸関係生産組織育成支援		園芸作物の生産振興を行う部会等に対し肥料1袋/20kg当り30円～100円、農薬は2%～4%を値引き	各物流センター、資材店舗からの配達または引取 ※出荷希望日の10日前までに申請	7万円	10万円							
4 防除作業受託組織育成支援		防除作業を受託する担い手等に対し使用する薬剤の予約価格から10%を値引き	対象となる薬剤は、【スタークル粒・液剤】【リンパー粒剤】【クラップ粒・フロアブル剤】 ※出荷希望日の10日前までに申請	63万円	60万円							

※1 令和2年産米の生産に向けて、令和元年度途中から始まった新規事業です。

※2 令和2年度新規事業です。

※3,※4 令和元年度実績は当JAの実績です。

※5 支援総額に信用事業部分は含まれていません。